

イーストスプリング・アジア・インカム・プラス

【愛称:アジアンドリーム】

追加型投信／海外／資産複合

第95期(決算日 2015年3月16日)
 第96期(決算日 2015年4月15日)
 第97期(決算日 2015年5月15日)
 第98期(決算日 2015年6月15日)
 第99期(決算日 2015年7月15日)
 第100期(決算日 2015年8月17日)

作成対象期間(2015年2月17日～2015年8月17日)

第100期末(2015年8月17日)	
基準価額	9,088円
純資産総額	264百万円
第95期～第100期 (2015年2月17日～2015年8月17日)	
騰落率	△5.2%
分配金合計	90円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・アジア・インカム・プラス」は、2015年8月17日に決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を除くアジアの債券および株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当作成期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記【お問い合わせ先】ホームページアドレスにアクセス⇒
 上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを
 表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を
 選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

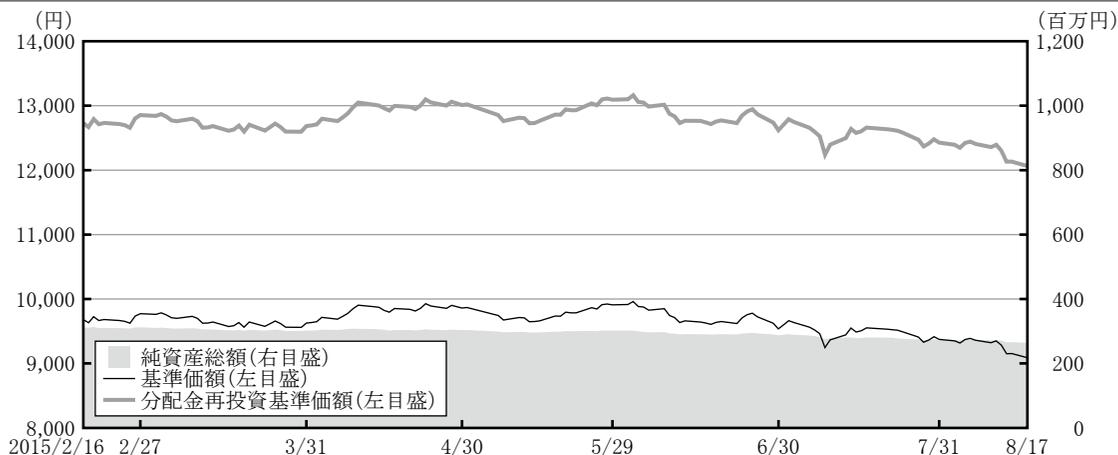
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について(第95期～第100期:2015年2月17日から2015年8月17日まで)



第95期首	9,679円
第100期末	9,088円(既払分配金90円)
騰落率	△5.2%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当作成期初から2015年4月末ごろまで、中国の景気対策や金融緩和期待、信用取引の増加などを背景に上昇した中国本土市場の流れを受けて、香港や韓国、台湾など東アジア株式市場を中心に上昇基調となり、基準価額も上昇しました。

しかしその後は、過熱した中国本土市場における信用取引への規制導入やギリシャのユーロ離脱懸念、中国人民元安の影響を受けてアジアの通貨および株式市場は調整局面入りし、軟調な展開となりました。また、為替市場においてマレーシアやタイ、インドネシアなどのアセアン諸国の通貨が対円で下落し、基準価額は下落して期末を迎えました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第95期～第100期 2015/2/17 ～2015/8/17		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	64円	0.662%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、9,680円です。
(投信会社)	(26)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.374)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	17	0.180	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(12)	(0.124)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(4)	(0.040)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.004)	信託管理事務にかかる手数料
合計	81	0.842	

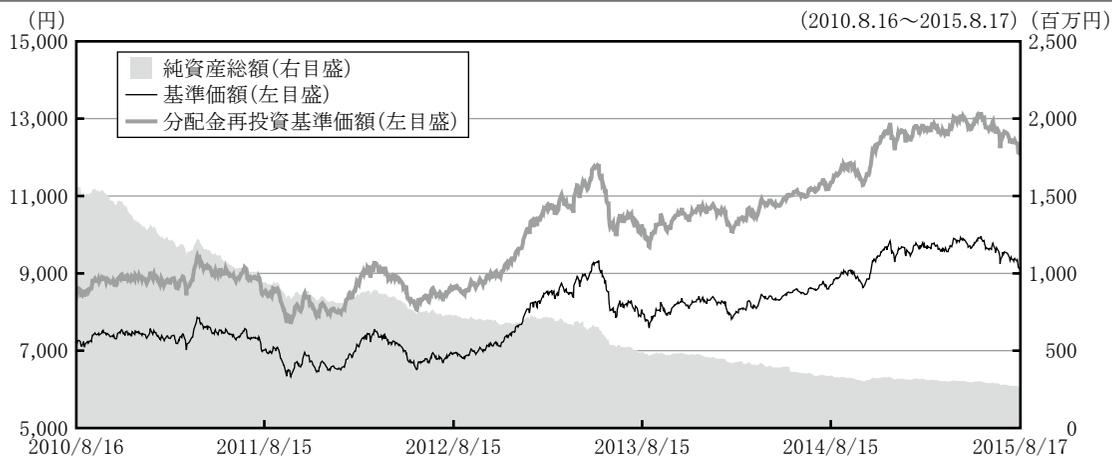
(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

	2010/8/16 期首	2011/8/15 決算日	2012/8/15 決算日	2013/8/15 決算日	2014/8/15 決算日	2015/8/17 決算日
基準価額 (円)	7,212	7,014	6,937	8,017	8,711	9,088
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△0.3	1.5	18.2	11.0	6.3
純資産総額 (百万円)	1,553	940	728	492	339	264

投資環境について

○海外株式市況

アジア株式市場では、当作成期初から2015年4月末ごろまで、中国の景気対策や金融緩和期待、信用取引の増加などを背景に上昇した中国本土市場の流れを受けて、香港や韓国、台湾など東アジア市場を中心に上昇基調となりました。また、中国の一部の都市において個人投資家の海外直接投資を認める動きや上海・香港間等の株式相互取引の進展期待などを受けて、中国国内からの資金流入が期待されたことも、中国周辺の東アジア株式市場上昇の要因となりました。

しかしその後は、過熱した中国本土市場における信用取引への規制導入やギリシャのユーロ離脱懸念、さらに8月に入り、実質的な通貨切下げを実施した中国人民元の影響を受けて、アジアの通貨および株式市場は調整局面に入り軟調な展開となりました。

○海外債券市況

アジア債券市場は、当作成期前半はアジア各国で金融緩和の動きが見られたことから、総じて堅調(利回りは低下)となりました。その後は米国の年内利上げ観測が高まったことや中国の景気減速懸念が強まったことを背景に、投資家のリスク回避姿勢が広がり、全体的に軟調な展開(利回りは上昇)となりました。

○為替市況

中国の景気減速懸念、中国人民元安、原油価格が再び下落局面に入ったことなどを背景に、特にマレーシアやタイ、インドネシアなどのアセアン諸国の通貨は対米ドル、対円ともに下落しました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド(以下「アジアン・エクイティ」と言うことがあります。))」を通じてアジア株式に3割程度の投資を行いました。

○アジアン・エクイティ

当作成期の投資行動としては、香港の保険株や中国のインターネット株などの大型株を新規に組み入れました。一方で韓国の鉄鋼株や自動車部品株などを売却しました。パフォーマンスはすべての国でマイナスとなりました。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

イーストスプリング・アジア・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジアの政府、政府機関及び国際機関の発行する現地通貨建債券に投資を行い、安定的な利子収入の確保および中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行いました。当作成期のパフォーマンスはインドとフィリピンの債券の保有がプラスに寄与した一方で、通貨が下落したインドネシアの債券の保有などがマイナスに作用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
	2015年2月17日 ～2015年3月16日	2015年3月17日 ～2015年4月15日	2015年4月16日 ～2015年5月15日	2015年5月16日 ～2015年6月15日	2015年6月16日 ～2015年7月15日	2015年7月16日 ～2015年8月17日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	0.156	0.152	0.155	0.155	0.158	0.165
当期の収益 (円)	7	15	7	10	11	7
当期の収益以外 (円)	7	—	7	4	3	7
翌期繰越分配対象額 (円)	181	191	184	179	177	170

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

今後の運用方針につきましては、原則として基本配分に従い、「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」を通じてアジア債券に7割程度、「アジア・エクイティ」を通じてアジア株式に3割程度の投資を行っていく予定です。

○アジア・エクイティ

アジアの株式市場は中国政府や中国本土株式市場の動き、さらに米国の利上げタイミングに対する憶測などが影響し、神経質な展開が見込まれます。一方で米国経済は緩やかながらも安定した成長を遂げており、世界経済を支えています。アジアのインフレ率も比較的低位に落ち着いており、金融緩和に動きやすい環境下にあるといえます。また足元のアジア株式市場は過去の水準と比較して割安な状態にあるとみています。

引き続き割安な銘柄を中心としたポートフォリオの構築を行ってまいります。

○イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

年内にも予想されている米国の利上げに伴い、アジアの債券利回りも上昇が見込まれます。このような局面では、ファンドのデュレーションを長期化する方針です。また、米国の債券市場と相関性の高いシンガポールの債券に関しては保有比率を減らす方針です。一方、インドやインドネシアなどの高利回りの債券については、引き続き現状の保有比率を維持する方針です。中国の景気や商品市況、米国の金融政策の動向などには、今後も注意が必要であると考えています。

お知らせ

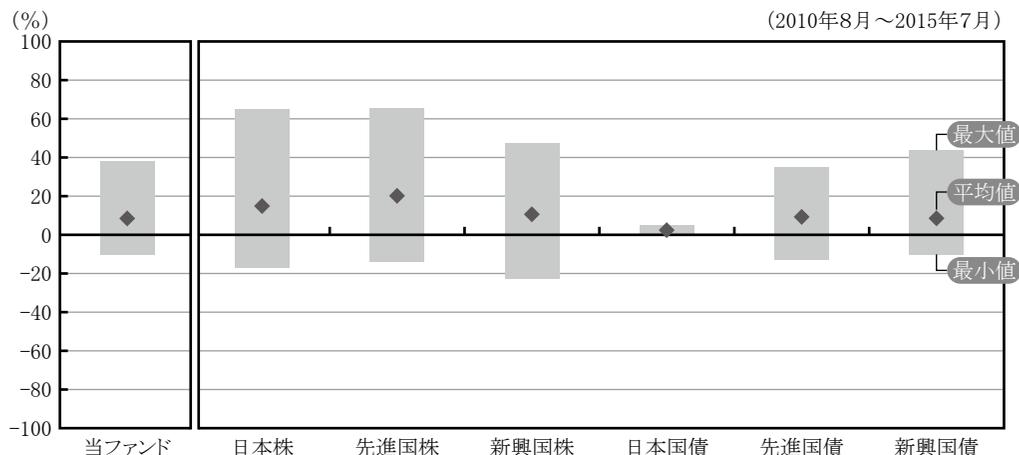
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	約10年間(2007年3月30日から2017年3月15日まで)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド」(米ドル建て)のクラスJ投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)」の受益証券(振替受益権を含みませす。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎決算時(毎月15日(休業日の場合は翌営業日))に、主に配当等収益から安定的に分配を行うことを目指します。また、売買益等がある場合は、これを付加して分配を行う場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.4	14.9	20.2	10.6	2.4	9.3	8.5
最大値	38.2	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-10.2	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-10.1

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年8月から2015年7月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

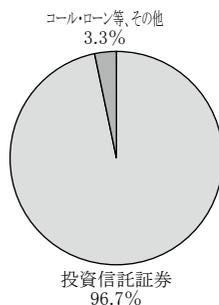
○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

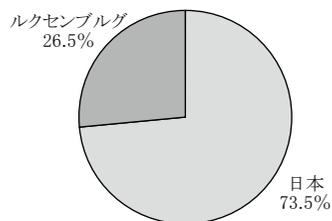
ファンド名	第100期末 2015年8月17日
イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)	70.1%
イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド	26.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

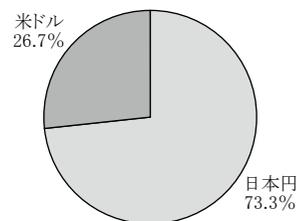
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第95期末 2015年3月16日	第96期末 2015年4月15日	第97期末 2015年5月15日	第98期末 2015年6月15日	第99期末 2015年7月15日	第100期末 2015年8月17日
純資産総額	303,026,758円	304,534,893円	296,319,423円	290,637,603円	278,740,971円	264,124,957円
受益権総口数	316,504,672口	310,032,205口	306,732,124口	301,352,782口	293,786,715口	290,636,235口
1万円当たり基準価額	9,574円	9,823円	9,661円	9,644円	9,488円	9,088円

* 当作成期中(第95期～第100期)において追加設定元本額は1,238,960円、一部解約元本額は33,198,843円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンド

(計算期間 2014年1月1日～2014年12月31日)

○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



○組入上位10銘柄

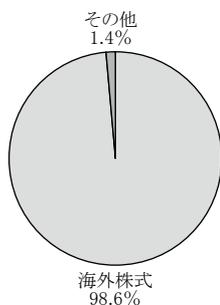
(組入銘柄数:62銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Samsung Electronics Co Ltd	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	6.8%
Taiwan Semiconductor Manufacturing	半導体・半導体製造装置	台湾	4.2%
China Construction Bank	銀行	香港	3.7%
China Mobile Ltd	電気通信サービス	香港	3.4%
Bank of China Ltd	銀行	香港	3.1%
Sun Hung Kai Properties	不動産	香港	3.0%
China Merchants Bank	銀行	香港	2.9%
Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	2.8%
Hyundai Motor Co	自動車・自動車部品	韓国	2.6%
KT Corporation	電気通信サービス	韓国	2.3%

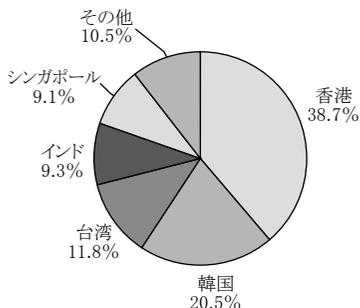
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ - アジアン・エクイティ・ファンドのAnnual Report (監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

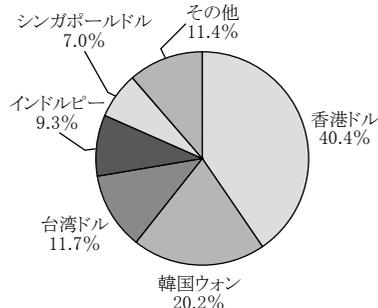
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は、株式が上場されている主要な金融商品取引所の所在国・地域を記載しています。

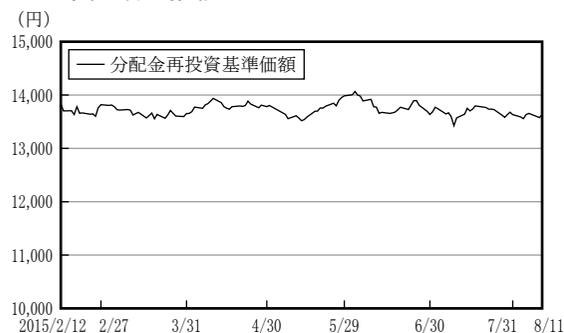
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・アジア・ソブリン・ファンド(適格機関投資家専用)

(計算期間 2015年2月13日～2015年8月11日)

○基準価額の推移



○組入上位10銘柄

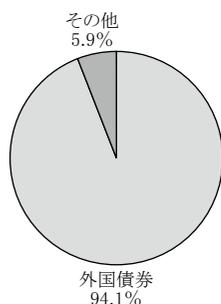
(組入銘柄数:79銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
PHILIPPINE	国債	フィリピン	3.9%
INDIA GOVT	国債	インド	3.6%
KOREA TREASURY	国債	韓国	2.8%
PHILIPPINE	国債	フィリピン	2.8%
INDIA GOVT	国債	インド	2.6%
INDIA GOVT	国債	インド	2.3%
KOREA TREASURY	国債	韓国	2.1%
KOREA TREASURY	国債	韓国	2.1%
MALAYSIAN	国債	マレーシア	2.0%
INDONESIA	国債	インドネシア	1.9%

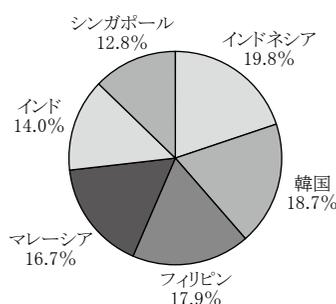
○1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬	14円
(投信会社)	(13)
(販売会社)	(0)
(受託会社)	(1)
(b) その他費用	7
(保管費用)	(5)
(監査費用)	(2)
(その他)	(1)
合計	21

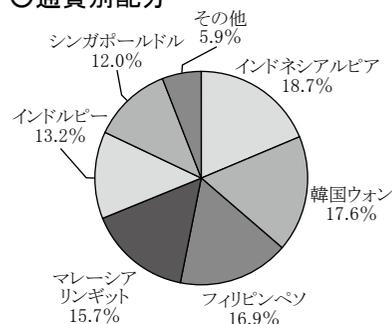
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要については、2ページの注記をご参照ください。

(注2) 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は、組入ファンドが投資対象とするマザーファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
- シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。